

はつかいち福祉ねっと

取組まとめ

～令和2年度～

注) 資料内の「※中止」の記載は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった取組です。

全体会

【目的など】

はつかいち福祉ねっと全体の計画・実績・方向性や地域課題、政策提言等の共有を行います。

【構成団体】

当事者・家族団体、福祉サービス事業所、医療機関、行政機関、教育機関、民生委員児童委員協議会等(約180団体・機関)

【これまでの主な取組】

- ・はつかいち福祉ねっと部会報告(取組計画・取組報告)(平成20年度～)
- ・きらりあ活動報告(平成20年度～)
- ・市の計画について
 - 「第2期廿日市市障がい福祉計画について」(平成21年度)
 - 「第3次障がい者福祉計画・第4期障がい福祉計画について」(平成26年度～)
- ・研修
 - 「やさしいまちづくり 可部での活動を通して」(平成25年度)
 - 「広島市8月20日豪雨災害を経験して」(平成26年度)
 - 「あび隊～知的障がいのある人の疑似体験～」(平成27年度)
 - 「避難行動要支援者避難支援制度について」(平成27年度)
 - 「障害者差別解消法について～法律の概要と活用のポイント」(平成28年度)
 - 「地域生活支援拠点について」(平成28年度)
 - 「みんなしあわせ～つばさという“場”から地域福祉の根っこを探す」(平成28年度)
 - 「すべての福祉の道は「地域福祉」に通ず」(平成29年度)
 - 「一般企業における障がい者雇用について」(平成29年度)
 - 「防災(出前トーク)」(平成30年度)
 - 「発達障がいってどんなもの?～疑似体験をしてみましよう～」(平成30年度)
- ・障がい者スポーツ体験(平成25年度)
- ・ステージ発表(平成24年度～)

【令和2年度 取組計画】

- ①令和元年度相談支援実績報告
- ②はつかいち福祉ねっとの取組報告(※中止)、計画共有
- ③ステージ発表、事業所紹介、事業所製品の販売・展示(※中止)
- ④研修会
- ⑤第3次廿日市市障がい者計画・第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画推進 第6期廿日市市障がい福祉計画・第2期廿日市市障がい児福祉計画策定に向けた取組

【令和2年度 取組報告】

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年7月に行っている全体会は中止にしました。

2月の全体会は、部会代表者会議でオンラインもしくは動画配信で行うか意見を集約した際、動画配信にしてみてもどうかというご意見を多くいただき、初めての試みとして全体会を動画配信で行いました。内容については、はつかいち福祉ねっと代表の挨拶、障害福祉課からの行政報告、研修(NPO法人ほっと吉和について:講師 益本住夫氏)にまとめました。

令和3年度は、多くの方が新型コロナウイルス感染症の予防・対策をとりながらオンライン等で例年通りの全体会に参加できるよう目指しています。



はつかいち福祉ねっとホームページに、期間限定で全体会の動画をアップしました！！

部会代表者会議

【目的など】

専門部会(障がい別会議・課題別会議)の代表者を構成員とし、はつかいち福祉ねっとの取組全般に関する情報共有や必要事項の協議を行います。

【構成団体】

①身体障がい部会②知的障がい部会③精神障がい部会④こども部会⑤わかりやすい情報部会(わかりやすい情報発信プロジェクト、手話言語&コミュニケーション条例プロジェクト)⑥就労支援部会(福祉就労ワーキング、特別支援学校進路ワーキング)⑦発達支援部会⑧医療的ケア児(者)部会⑨地域生活支援部会(精神障がいにも対応した地域包括ケアワーキング、余暇活動支援ワーキング、訪問介護事業所連絡会、防災プロジェクト、地域生活支援システムプロジェクト)⑩相談支援部会⑪学習・啓発部会(権利擁護ワーキング、“障害者週間”ワーキング、“発達障害啓発週間”ワーキング)

【令和2年度 取組計画】

- ①年間4回の会議開催
- ②はつかいち福祉ねっとの取組全般に関する情報共有や必要事項の協議

【令和2年度 取組報告】

5月21日に予定していた会議は新型コロナの影響により中止となりましたが、年3回の会議(6月18日、11月19日、2月4日)を開催しました。各部会の取組状況を共有しながら、全体会や次期障がい福祉計画・障がい児福祉計画等、福祉ねっとの取組全般に関わる内容について協議しました。



会議の様子(部会代表者会議・計画推進会議)

計画推進会議

【目的など】

「廿日市市障がい者計画・廿日市市障がい福祉計画・廿日市市障がい児福祉計画」をPDCAサイクルで推進するために、地域課題やはつかいち福祉ねっとでの取組について協議を行います。

【構成団体】

①身体障がい部会②知的障がい部会③精神障がい部会④こども部会⑤わかりやすい情報部会(わかりやすい情報発信プロジェクト、手話言語&コミュニケーション条例プロジェクト)⑥就労支援部会(福祉就労ワーキング、特別支援学校進路ワーキング)⑦発達支援部会⑧医療的ケア児(者)部会⑨地域生活支援部会(精神障がい者に対応した地域包括ケアワーキング、余暇活動支援ワーキング、訪問介護事業所連絡会、防災プロジェクト、地域生活支援システムプロジェクト)⑩相談支援部会⑪学習・啓発部会(権利擁護ワーキング、“障害者週間”ワーキング、“発達障害啓発週間”ワーキング)

【令和2年度 取組計画】

- ①年間2回の会議開催
- ②「第3次廿日市市障がい者計画」「第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画策」をPDCAサイクルで推進するための協議

【令和2年度 取組報告】

年2回の会議では「第3次廿日市市障がい者計画・第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画」に関する市の進捗状況や、各部会での取組、地域課題等の共有を行いました。また、「第6期廿日市市障がい者計画・第2期廿日市市障がい児福祉計画」策定に向け、意見交換を行いました。



身体障がい部会

【目的など】

障がいのある人・家族・支援者が定期的に集まり、障がいのある人の困りごと等様々な意見を汲み上げ、解決策を検討しています。

また、みんなでスポーツを楽しんだり、安心して外出できる街づくりのための取組も行っています。

【構成団体】

①廿日市市障害者福祉協会②大野障害者団体連絡協議会③廿日市市障害者団体連絡会④視覚障害者の会「椿会」⑤全国障害者問題研究会廿日市サークル⑥佐伯地区ろうあ協会廿日市支部⑦広島ひかり園家族会⑧広島ひかり園⑨日本頸髄損傷 LifeNet⑩広島県難聴者・中途失聴者団体連合会廿日市支部

【これまでの主な取組】

- ・おりづる出前教室
健康づくり講演・料理教室・レクスポなど(平成22年度～)
- ・まち点検実施
廿日市市役所駅前～JR宮内串戸～阿品駅周辺点検
宮島口駅周辺点検
宮島点検 ※廿日市市障害者福祉協会「宮島安心ガイドマップ」作成に協力、広電廿日市駅及びJR廿日市駅周辺地区整備、平良市民活動センターリニューアル、JR大野浦駅周辺地区整備に向け廿日市市担当課と意見交換
JR廿日市駅点検(平成23度～)
- ・あいプラザ消防訓練に参加(平成27年度～)
- ・“障害者週間”イベント(ゆめタウン廿日市)に参加(平成27年度～)

【令和2年度 取組計画】

- ①まち点検：宮島口旅客ターミナル
- ②おりづる出前教室(※中止)
- ③防災(啓発活動・避難訓練)(※中止)
- ④“障害者週間”を活用しての啓発活動(※中止)
- ⑤第3次廿日市市障がい者計画・第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画推進 第6期廿日市市障がい福祉計画・第2期廿日市市障がい児福祉計画策定に向けた取組

【令和2年度 取組報告】

まち点検として、宮島口旅客ターミナルの点検をしました。市の障害福祉課、宮島口みなとまちづくり推進課、はつかいち観光協会、広島県西部建設事務所廿日市支所管理用地課の職員さんから説明を受けました。多目的トイレや設置予定であるエレベーター、観光(紹介)動画の情報保障(字幕や手話ワイプ等)について等、意見交換を行うことができました。定例会では、市消防本部警防課からNET119についての説明、福祉総務課・営繕課から山崎本社みんなのあいプラザ相談支援拠点整備のレイアウト案の説明を聞き、意見交換を行いました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のため、中止となった企画等もありましたが、インターネットを活用したオンライン会議を開催するなど感染予防をしながら取組みました。



まち点検(宮島口旅客ターミナル)での様子

知的障がい部会

【目的など】

家族会や本人・家族を支援している事業所が集まり、個人や一団体だけでは解決できない地域課題を共有し、行政や関係団体と連携しながら、その課題解決に向けて取り組んでいます。部会内の情報交換や学習会等の実施により、団体間の親睦も深まっています。

【これまでの主な取組】

- ・リーフレット「なっってください！サポーターに」作成(子ども部会と共同)(平成20年度)
- ・「サポートファイル学習会」(子ども部会・発達支援部会と共同)(平成22年度)
- ・おりづる出前教室「ゆるゆるピクス」「レクスポ」など(平成23年度～)
- ・「東日本大震災被災体験講演」(平成24年度)
- ・「要援護者避難支援制度学習会」(平成25年度)
- ・障がいのある人が利用している理・美容院、医療機関の情報収集(平成27年度～)
- ・地域生活支援拠点に関する情報収集、学習(平成27年度)
- ・あいプラザ消防訓練に参加(平成27年度～)
- ・就労に関する学習(平成28年度)
- ・学習「障害福祉サービス」「特殊詐欺等」(平成29年度)
- ・学習「障がい福祉サービス(介護保険移行)」(平成30年度)
- ・学習「ネット犯罪・ネット詐欺に関する学習会」(令和元年度)

【構成団体】

- ①ピクトハウス家族会②友和の里保護者会(通所部)③友和の里保護者会(入所部)
 ④廿日市市手をつなぐ育成会⑤くさのみ作業所家族会⑥障害者施設・原家族会⑦おのおの手をつなぐ育成会⑧ファミリーレ⑨虹の会⑩日本ダウン症協会(はつかいち)
 ⑪あおぞら家族会⑫くさのみ作業所⑬ピクトハウス⑭友和の里⑮アダージョ⑯障害者支援施設原⑰大野ふれあい生活介護事業所⑱あおぞら⑲あうるワークスペース⑳リバティーはつかいち㉑特定非営利活動法人 友志人福祉会

【令和2年度 取組計画】

- ①おりづる出前教室 「ゆるゆるピクス」(※中止)
 ②事業所見学(※中止)
 ③あいプラザ消防訓練参加(※中止)
 ④障がいのある人が利用している理・美容院、医療機関情報収集
 ⑤学習(※中止)
 ⑥情報交換(家族団体グループ、事業所グループ)
 ⑦第3次廿日市市障がい者計画・第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画推進 第6期廿日市市障がい福祉計画・第2期廿日市市障がい児福祉計画策定に向けた取組

【令和2年度 取組報告】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で前半は7月以外定例会が開催できない状態が続きましたが、感染予防対策(検温、消毒、換気等)を行い、オンライン会議を導入するなどし、9月から定例会を再開しました。予定していたおりづる出前教室、事業所見学、あいプラザ消防訓練参加は残念ながら中止になりましたが、定例会ではコロナ禍の課題や工夫している点などを共有しました。障がいのある人が利用している理・美容院、医療機関情報収集では新たな情報を集めました。その他、各団体、事業所の取組等を共有しました。

今年度、予定していた取組計画通りに進めることができませんでしたが、活発に意見交換を行うことができました。



定例会の様子



ゆるゆるピクスの様子

精神障がい部会

【目的など】

廿日市市の精神障がいのある人やご家族が安心して地域生活を送るために、当事者・ご家族・支援者などが定期的に会議を開催し、情報共有や、研修など地域啓発に取り組んでいます。

【これまでの主な取組】

- ・研修(主催:廿日市市、共催:はつかいち福祉ねっと)
 - 「障がいがあっても元気でいられる」(平成28年度)
 - 「高次脳機能障害ってどんなこと?」(平成28年度)
 - 「発達障害のある人・家族の気持ちと支援のあり方」(平成28年度)
 - 「あなたの知らないお酒の世界」(平成29年度)
 - 「高次脳障がい者のための知っておきたいエピソード」(平成29年度)
 - 「発達障がい児・者への援助と利用」(平成29年度)
 - 「もっと知ってほしい!高次脳機能障害のこと(平成30年度)」
 - 「災害時のこころのケアとトイレ問題(令和元年度)」
- ・おりづる出前教室(平成23年度~)
- ・当事者主体の地域交流事業
 - 備北丘陵公園(平成26年度)
 - 安佐動物公園(平成27年度)
 - 尾道千光寺公園日帰り旅行(平成28年度)
 - みんなで作った餃子をみんなで食べる!!お食事会(平成29年度)
 - 温井ダム見学(平成30年度)
 - 蜂が峯公園(令和元年度)



研修(精神保健福祉講座「アルコール依存症について」での様子)

【構成団体】

①精神障害者家族会こぶし会②大野精神障害者家族会あいあい③高次脳機能障害家族会「シェイキングハンズ」廿日市地区会④さくら作業所⑤あいあい作業所⑥友和病院⑦訪問看護ステーションゆうわ⑧訪問看護ステーションこころ一れ廿日市⑨エスペランサ⑩あうるホーム フィーカ⑪にじのえき⑫コーヒーショップあんず⑬ハナミズキ⑭相談支援事業所エスペランサ⑮さくら相談支援事業所⑯相談支援事業所あおぞら⑰串戸心療クリニック⑱訪問看護ステーション和み⑲あおぞら⑳広島県西部保健所㉑市社会福祉協議会

【令和2年度 取組計画】

- ①精神障がいに対する理解と啓発
- ②高次脳機能障がいに関する理解と啓発(※中止)
- ③おりづる出前教室(※中止)
- ④交流企画(※中止)
- ⑤制度の勉強会(※中止)
- ⑥施設見学(※中止)
- ⑦第3次廿日市市障がい者計画・第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画推進 第6期廿日市市障がい福祉計画・第2期廿日市市障がい児福祉計画策定に向けた取組

【令和2年度 取組報告】

新型コロナウイルスの影響により、おりづる出前教室、交流企画、勉強会、施設見学等は中止となりましたが、7月より定例会を再開し、オンラインを活用しながら次期障がい福祉計画策定にむけての意見交換、コロナ禍における現状や課題の共有を行いました。

1月25日には市の精神保健福祉講座(「アルコール依存症について」)に参加をし、コロナ禍で自宅での飲酒が増えている現状を踏まえ、どのように支援・対応をしたらよいか等について学びました。

こども部会

【目的など】

子どもたちが明るく楽しく生きていけるよう、保護者団体で課題を共有し、行政、関係団体とも連携しながら課題解決に向けた話し合いや取組を行うことを目的としています。主な活動として、余暇活動の充実のための保護者企画や地域とのつながりづくりのための取組、情報交換、学習会等を行っており、これらの活動を通して、団体間の親睦を深めています。

【構成団体】

①みんなのつながりを豊かにしたい会②広島県立廿日市特別支援学校PTA③たーとる(肢体不自由児の会)④くれよん保護者会オレンジクラブ⑤よしわ・さいき障がい児と親の会「みかん」⑥広島自閉症協会⑦スイミー⑧ちょうちょ⑨きょうだい支援の会SIBLINGS⑩ぷれじゅーる⑪廿日市市難病患者こども会

【これまでの主な取組】

- ・「リーフレット「なってください!サポーターに」作成(知的障がい部会と共同)(平成20年度)
- ・「サポートファイル学習会」(平成21、22年度)
- ・「夏休み・留守家庭児童会アンケート」実施(放課後・長期休暇ワーキングと共同)(平成22年度)
- ・“地域とのつながりづくり”アンケート(平成23年度～)
- ・「冬の宮島親子スタンプラリー」(平成24年度)
- ・「支援者(保護者)が知っておくべき障害年金手続きの始め方・取り組み方」(権利擁護部会と共催)(平成25年度)
- ・おりづる出前教室「レクスポ」(平成23～28年度)
- ・夏休み工作(手づくり)教室(平成25年度～)
- ・学習会「障がい児者のきょうだいについて」(平成27年度)
- ・“障害福祉サービス”等のべんり帖～こどもバージョン～作成(平成28年度)
- ・スポーツ吹矢づくり&体験(平成28、29年度)
- ・こども部会アンケート(平成29年度)

【令和2年度 取組計画】

- ①地域とのつながりづくりアンケート
- ②「“障害福祉サービス”等のべんり帖～こどもバージョン～」改訂、配布
- ③ブログ・LINEを活用した情報発信(団体に所属されていない保護者とのつながりづくり)
- ④こども部会アンケート分析
- ⑤第3次廿日市市障がい者計画・第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画推進、第6期廿日市市障がい福祉計画・第2期廿日市市障がい児福祉計画策定に向けた取組

【令和2年度 取組報告】

毎年開催している夏休み手づくり教室(友和の里と共催)を中止とする等、新型コロナウイルス感染症の影響がありましたが、オンラインの導入と併せて部会の開催時間帯を見直したことで、これまで参加が難しかったメンバーの参加が可能となり、良かった面もある1年でした。

これまで、こども部会の構成団体に所属されている方のみ配布していた“地域とのつながりづくりアンケート”は、団体に所属される方が減ってきているため、初めて障害児通所支援事業所(児童発達支援・放課後等デイサービス)からも配布していただきました。その結果、ここ数年と比較し、主任児童委員さんとのつながりを希望される方が増え、引き続きニーズがあるということ把握できました。

また、オンラインを活用した学習会企画に関するアンケートを実施し、学習会の内容や開催日時を検討しました(令和3年度に開催予定)。

令和元年度に改訂した「“障害福祉サービス”等のべんり帖～こどもバージョン～」の配布を進めることもできました。

部会メンバーの子ども年齢が高くなってきている等の変化があり、以前から課題になっている今後の部会のあり方については、継続して検討しています。



令和元年度 夏休み手づくり教室の様子

“障害福祉サービス”等のべんり帖
～こどもバージョン～

わかりやすい情報部会 わかりやすい情報発信プロジェクト

【目的など】

障がいのある方に制度や地域生活を送るために役立つ情報を発信していくことを目的としています。わかりやすい情報提供の方法の検討とともに、はつかいち福祉ねっとの取組を広く知っていただくことにも取り組みます。

【構成団体】

- ①はつかいち福祉ねっと有志
- ②さくら相談支援事業所
- ③市社会福祉協議会

【これまでの主な取組】

- ・福祉サービスガイドブック作成(平成20年度)
福祉サービスガイドブック改訂(平成24年度～)
- ・事業所紹介DVD作成(平成20年度)
(協力:廿日市市市民活動センター)
- ・はつかいち福祉ねっと通信発行(平成20年度～)
- ・事業所一覧の作成・更新(平成21年度～)
- ・ホームページ開設・更新(平成22年度～)

【令和2年度 取組計画】

- ①はつかいち福祉ねっと通信発行
- ②事業所リスト・サービスガイドブックなど、最新の情報を提供
- ③ホームページ等を活用した情報発信

【令和2年度 取組報告】

事業所一覧の更新、ホームページ等を活用した情報発信を行いました。サービスガイドブックについては、改訂内容について検討し、より多くの方に情報が入りやすくするため、ダイジェスト版も作成することとなりました。

事業所一覧は、内容の更新を行い、ホームページにも掲載しました(一覧から各法人・事業所のホームページへ移動できるようリンク)。

年4回発行している「はつかいち福祉ねっと通信」は、福祉ねっと関係者以外にも、はつかいち福祉ねっとの活動を知っていただけるよう、廿日市内の市民センター、保育園等への配布を継続しました。

ホームページに「視覚障がいのある人向けの情報」というコーナーを設けていますが、そのコーナーの存在をあまり知られておらず「視覚障がいのある人への情報が入りにくい」という課題があるため、情報ツールの周知に関する検討も行いました。

また、はつかいち福祉ねっとでオンライン会議を導入することとなったため、新たな取組として、オンライン会議に関心のある障がいのある人、事業所職員を対象に「オンラインお試し会」を開催しました。オンライン会議は「会場に出向くことが難しい障がいのある人が自宅等から会議に参加できるとよい」という声を受け、以前から検討していたことではありましたが、結果的に新型コロナウイルス感染症拡大がきっかけとなり、導入を進めることとなりました。



わかりやすい情報部会 手話言語&コミュニケーション条例プロジェクト

【目的など】

「廿日市市手話言語の普及及び多様なコミュニケーション手段の利用促進によるやさしいまちづくり条例」に基づき進める施策について、具体的な意見を出し合いながら協議していくことを目的としています。

【これまでの主な取組】

プロジェクトは、市の条例制定に向けて、障がいのある人や家族、関係者の声を聴きながら取組を進めたいという市の意向を受けて平成29年11月に新設しました。

条例に対する色々な意見をいただきながら検討を進め、平成30年6月の廿日市市議会定例会で「廿日市市手話言語の普及及び多様なコミュニケーション手段の利用促進によるやさしいまちづくり条例」が可決され、平成30年7月1日から施行されました。

- ・「パンフレットの作成(一般版、わかりやすい版)」(平成30年度)
- ・「多様なコミュニケーションを学ぶ手話等体験研修(市の職員研修)」(平成30年度)
- ・「人権フェスタ2018～障がいのある人もない人も一緒にコミュニケーション～」(平成30年度)
- ・「津田小学校 放課後子ども教室」手話学習(令和元年度)

【構成団体】

①佐伯地区ろうあ協会廿日市支部②視覚障害者の会「椿会」③廿日市市障害者団体連絡会④日本頸椎損傷LifeNet⑤広島県難聴者・中途失聴者団体連合会廿日市支部⑥廿日市市要約筆記サークルやじろべえ⑦友和の里保護者会(通所部)⑧くさのみ福祉会⑨高次脳機能障害家族会「シェイキングハンズ」廿日市地区会⑩にじのえき⑪スイミー⑫ぶれじゅーる⑬廿日市市手話通訳者連絡協議会⑭市社会福祉協議会⑮市学校教育課

【令和2年度 取組計画】

障がい特性に応じたコミュニケーション手段の理解を深めるための普及に関する取組(学校などでの普及啓発)

【令和2年度 取組報告】

例年開催している新規採用された市の職員を対象とした「多様なコミュニケーションを学ぶ手話等体験研修」への参加は、新型コロナの影響により中止となりました。

感染拡大等により、啓発プログラムの企画や参加が難しい状況でしたが、市学校教育課と事務局とで協議をし、次年度に向け1月の校長会にて啓発プログラムの具体案を提示し、再度周知をはかっていくことになりました。

12月17日(木)にはプロジェクトの会議を開催し、これまで各団体・関係機関で取り組んできた啓発への取組等について情報共有し、次年度の啓発活動に向けた意見交換を行いました。



条例のパンフレットはこちらからダウンロードできます。

<https://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/soshiki/34/37898.html>



就労支援部会 福祉就労ワーキング

【目的など】

福祉サービス事業所の連携による仕事づくりや販路拡大による工賃アップ、働く場づくり、そして日中活動の充実をめざして活動しています。

【これまでの主な取組】

- ・ワーキングの中で各事業所の現状報告をしながらの情報共有
- ・事業所商品の PR
 - ①事業所商品のカタログを作成し、イベントなどの景品として使用してもらう。
 - ②カタログについては市のホームページに掲載中
 - ③市役所ロビーショーケースでの展示
- ・協働して取り組める仕事の開拓
 - ①商工はつかいちの封入作業
 - ②アンケートのデータ入力作業
 - ③その他の内職作業、etc
- ・販路などの拡充に向けての取組
 - ①販路開拓のために宮島で事業所商品の見本市を実施(平成23年度)
 - ②info.表参道での常設販売(平成23年度～令和元年度)
 - ③市役所ロビー・大野文化ゾーン販売開始(平成27年度～)
 - ④ニューヤマザキデイリーストアー廿日市市役所売店常設販売(平成30年度～)
 - ⑤はつこいマーケット(宮島口ターミナル)常設販売(令和2年度～)



はつこいマーケット委託販売
はつこい朝市の様子



コロナに負けるなキャンペーン

【構成団体】

①くさのみ作業所②ピクトハウス③夢工房④にじのえき⑤コーヒーショップ あんず⑥さくら作業所⑦ハナミズキ⑧あいあい作業所⑨アダージョ⑩障害者支援施設原⑪広島ひかり園⑫大野ふれあい生活介護事業所⑬友和の里⑭多機能事業所ぱすてる⑮Hanaと花舎⑯リバティーはつかいち⑰あおぞら⑱あうるワークスペース⑲清風会みやじま⑳なずな㉑そらまめ㉒おおの共同作業所㉓障害福祉サービス事業所 pas à pas

【令和2年度 取組計画】

- ①各事業所の取組情報の共有
- ②“障害者週間”に向けての取組
- ③商品カタログの更新(継続)
- ④協働で行えるプロジェクトの実施及び進捗状況の確認

【令和2年度 取組報告】

ワーキングを8月から再開しコロナ禍での影響や各事業所での工夫等について情報共有しながら取組をすすめました。

新しくなった宮島口の旅客ターミナルに、“はつこいマーケット”が7月16日(木)にオープンし、5事業所が常設販売に参加することになりました。11月1日(日)に開催された“はつこい朝市”には4事業所が参加しました。

「コロナに負けるな!広げよう、障害者福祉事業所を応援する輪、応援の輪を広げる市町キャンペーン」を廿日市市では、10月20日(火)市役所1階スペースにて、マスク着用、消毒はもちろんのこと、販売人数も最小人数にするなど新型コロナウイルス感染対策を行い、10事業所が参加して開催しました。

新たな受注作業の調整や継続した取組として「商工はつかいちの封入作業」、「市役所からのアンケートのデータ入力」、「市役所ロビーショーケース展示」、「市役所ロビー・大野文化ゾーン販売」、「ニューヤマザキデイリーストアー廿日市市役所売店常設販売」、「“障害者週間”啓発イベントへの参加」などを行いました。

就労支援部会 特別支援学校進路ワーキング

【目的など】

「特別支援学校卒業生の就労の場が不足している」という課題の解決に向けて協議検討するとともに、各事業所・特別支援学校(廿日市市在住の生徒が在籍する市外特別支援学校も含む)の情報共有や廿日市特別支援学校卒業予定者の進路調整を行うことを目的にしています。

【これまでの主な取組】

- ・学校の卒業生見込み数と事業所の受け入れ見込み把握(平成21年度～)
- ・廿日市市外の特別支援学校も参加(夏休み期間中1回)スタート(平成23年度～)
- ・特別支援学校卒業生等にかかる就労継続支援B型の利用取扱い等について調整(平成25年度)

【構成団体】

①広島県立廿日市特別支援学校②ハローワーク廿日市③広島西障がい者就業・生活支援センターもみじ

(夏休み期間中：くさのみ作業所、ピクトハウス、夢工房、コーヒーショップあんず、アダージョ、大野ふれあい生活介護事業所、友和の里通所部、ぱすてる、ぱすてる大野原・ぱすてる大野原クリーニング、Hanaと花舎、あおぞら、あうるワークスペース、にじのえき、さくら作業所、ハナミズキ、障害者支援施設原、就労継続支援事業所原、広島ひかり園、あいあい作業所、ハートフルあまの、リパティーフつかいち、清風会みやじま、おおの共同作業所、なずな、そらまめ、障害福祉サービス事業所 pas à pas、障害児相談支援事業所PIECE宮園、相談支援事業所くさのみ、相談支援事業所あおぞら、相談支援事業所そら、相談支援事業所いっぽ、相談支援事業所原、相談支援事業所広島ひかり園、相談支援事業所友和の里、さくら相談支援事業所、あうるサポートセンター、相談支援事業所エスペランサ、ライフプランナーKIZUNA、相談支援事業所みんなの手、市外特別支援学校)

【令和2年度 取組計画】

特別支援学校と進路先関係者等による情報共有(年4回)

※夏休み期間中ワーキング(2部構成)(※中止)

前半：廿日市特別支援学校、市外特別支援学校にご参加いただき、市内福祉事業所の情報共有

後半：廿日市特別支援学校卒業予定者について廿日市特別支援学校と事業所でケース共有

【令和2年度 取組報告】

年3回のワーキングを開催し市内事業所情報や課題の共有を行いました。

夏休みのワーキングは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。例年と違うコロナ禍という環境の中でしたが、各関係機関と連携して廿日市特別支援学校卒業予定者の進路調整を行うことができました。



令和元年度夏休みワーキングの様子



特別支援学校進路ワーキング

発達支援部会

【目的など】

ライフステージを通して、切れ目ない発達支援ができるような体制整備に向けた検討を行うことを目的にしています。

【これまでの主な取組】

- ・社会資源(保育・教育・福祉)、相談支援の現状整理(平成20年度)
- ・サポートファイルの普及啓発
 - 関係者会議、モニター実施(平成21年度)
 - 「サポートファイル学習会」(子ども部会・知的障がい部会と共同)(平成22年度)
 - 「サポートファイル支援者向け学習会」(平成25年度)
 - 「サポートファイル活用に関する調整会議」(児童発達支援事業所)(平成26年度)
- ・「発達障害児市町支援体制推進事業サポート会議」(平成23年度)
- ・「広島県発達障害市町サポートコーチ事業」利用(平成24年度)
- ・発達障がいのある人のための窓口紹介リーフレット「ポジティブライフガイド」作成(平成24年度)→配布(平成25年度～)
- ・学習会「発達障がいの基礎知識」(平成24年度)
- ・障がい児支援関係事業所連絡会の開催(平成28年度～)

【構成団体】

- ①広島西こども発達支援センターくれよん②市教育委員会③市子育て応援室④市こども課⑤市障害福祉課⑥きらりあ
- ※障がい児支援関係事業所連絡会：市内障がい児支援関係事業所(児童発達支援センター、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所、障がい児相談支援事業所、児童養護施設、母子生活支援施設等)

【令和2年度 取組計画】

- ①ポジティブライフガイドの配布
- ②サポートファイルの普及・啓発
- ③障がい児支援関係事業所連絡会の開催 ※中止
- ④教育と福祉の連携についての検討

【令和2年度 取組報告】

乳幼児健診を中心に配布を継続している「ポジティブライフガイド」は、様々な場面で配布することで保護者の相談しやすいタイミングで相談につながるよう、配布対象者を年々広げており、小・中学校に加え、新たに保育園、幼稚園にも配布しました。

サポートファイルが改訂されたため、内容確認や普及・啓発の方法についての検討を行い、新サポートファイルの配布をスタートさせました。今後、普及・啓発のための支援者向け学習会を開催することとしています。

情報交換や支援者の質の向上等を目的とし、年3回定期開催している障がい児支援関係事業所連絡会(対象：児童発達支援センター、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所、障害児相談支援事業所、児童養護施設、母子生活支援施設等)については、新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見送りました(連絡会内で予定していた学習会は、講師の都合もあり来年度に延期)。

以前から取り組んでいる教育と福祉の連携についての検討も引き続き行いました。

「ポジティブライフガイド」

平成22年度～23年度にかけて実施された、広島県発達障害児市町支援体制推進事業において、「本市は、発達障がいに関する相談窓口が不明確である」という課題が指摘されたことを受けて、ライフステージにおける発達支援部会で協議検討し、平成24年度広島県発達障害市町サポートコーチ事業を活用して作成した「発達障がいのある人の相談窓口リーフレット」です。内容は毎年改訂し、最新版を配布しています。



部会の様子

障がい児支援関係事業所連絡会

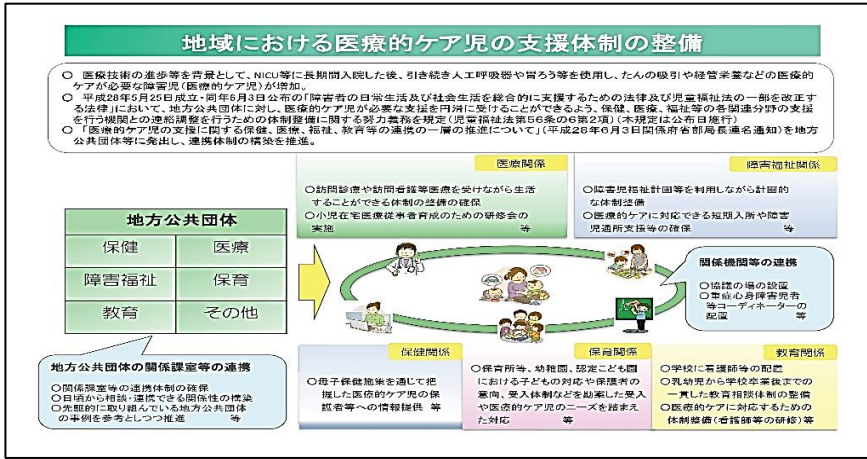
医療的ケア児(者)部会

【目的など】
 医療的ケア児(者)の地域の現状や課題を把握・検討するとともに、関係者会議等の開催を通して地域で支援に携わる保健、医療、福祉、教育等の連携を図ることを目的としています。

【構成団体】
 ①市障害福祉課②相談支援事業所あおぞら③指定特定相談支援事業所友和の里④きらりあ(②③からは医療的ケア児等コーディネーターが参加)
 ※関係者会議：うるおい訪問看護ステーション、ハートフルステーションあまの、訪問看護ステーションマハロ、佐伯地区医師会訪問看護ステーション、JA広島総合病院、大野浦病院、広島西医療センター、重症児・者福祉医療施設原、児童発達支援センターおひさま、広島西こども発達支援センターくれよん、相談支援事業所あおぞら、指定特定相談支援事業所友和の里、廿日市市特別支援学校、市子育て応援室、市こども課、市学校教育課

【令和2年度 取組計画】
 医療的ケア児(者)部会の開催に向けての協議

【令和2年度 取組報告】
 10月29日(木)に関係者会議を開催し、医療的ケア児(者)に係る情報共有や、各関係機関の現状について意見交換等を行いました。
 令和元年度の関係者会議にて「教育機関との連携や情報交換ができる」といいうご意見があったことを受け、学習コーナーとして市学校教育課より就学前の教育相談の流れ等について説明をいただく機会を設けました。
 今後は、個別支援会議や関係者会議の開催を通してさらに支援における課題や現状を把握するとともに、みなさんの意見を頂きながら、関係者会議における学習会や研修の開催等も検討していけたらと考えています。



厚生労働省資料「医療的ケアが必要な子どもへの支援の充実に向けて」より抜粋(平成30年10月3日)



関係者会議

精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムワーキング

【目的など】

精神障がいのある人が地域の一員として安心して自分らしい暮らしを送ることができるよう「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」の構築について協議することを目的としています。

【構成団体】

①広島県西部保健所②市社会福祉協議会③市障害福祉課④きらりあ

【令和2年度 取組計画】

精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの体制整備に関する情報共有

【令和2年度 取組報告】

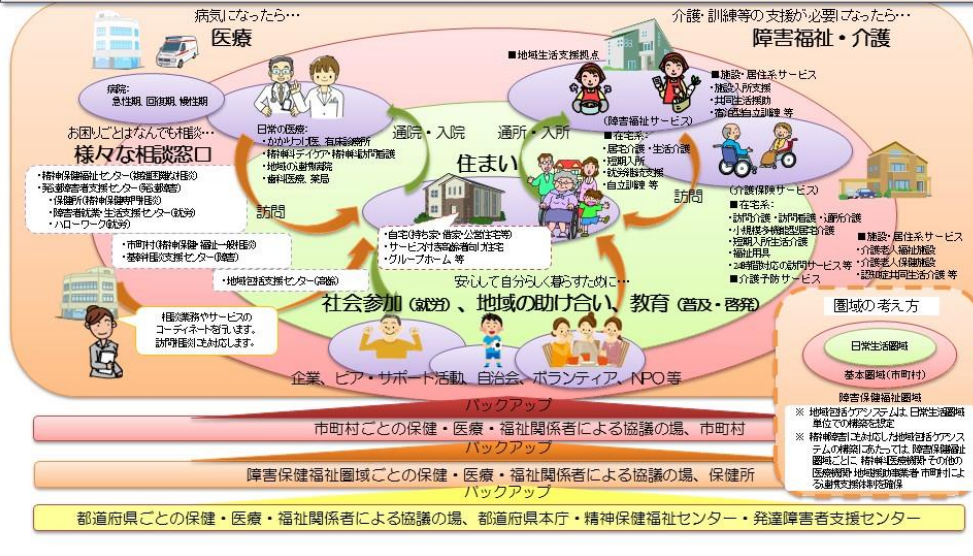
今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、7月からスタートしました。11月までは2か月ごとの開催でしたが、会議のペースを上げたほうがよいという意見があり、その後は1ヶ月に1度会議を開催しました。

まずは、個別ケースを共有し、地域課題や活用できる社会資源などについて話し合いを行いました。前年度作成した地域アセスメントを見返し、各項目(「医療」「障がい福祉・介護」「住まい」「社会参加(就労)」「地域の助け合い・教育(普及啓発)」)における課題のピックアップを行い、今後の取組をどのようにしていくかについて検討をしました。

これからのステップとして、検討した取組内容を具体的にどうすすめていくか協議していきたいと思っております。

精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築(イメージ)

○精神障がい者が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、医療・障害福祉・介護・住まい・社会参加(就労)、地域の助け合い、教育が包括的に確保された地域包括ケアシステムの構築を目指す必要がある。
○このような精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築にあたっては、計画的に地域の基盤を整備するとともに、市町村や障害福祉・介護事業者が、精神障がいの程度によらず地域生活に関する相談に対応できるように、圏域ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場を通じて、精神科医療機関、その他の医療機関、地域援助事業者、市町村などの重層的な連携による支援体制を構築していくことが必要。



地域生活支援部会 余暇活動支援ワーキング

【目的など】

障がいのある人たちの余暇活動の充実を目的としています。
当初は、障がいのある子どもたちの放課後長期休暇中の課題(居場所づくり等)解決のために立ち上げたワーキングでしたが、子どもたちの社会資源が増えてきたため、現ワーキングへと移行しました。

【これまでの主な取組】

- ・関係事業所情報交換会(平成25年度)
- ・放課後長期休暇スキルアップ研修(平成25年度)
- ・障がい者スポーツ体験会(平成26年度～)
- ・カローリング交流会(平成26年度～令和元年度中止)
- ・クルージング(協力:JR西日本フェリー)企画(平成27年度～※平成25～26年度は事務局、令和元年度中止)
- ・「みんなの交通安全教室&広島県警察音楽隊演奏」(平成28年度～平成30年度)

放課後長期休暇ワーキング(平成20～24年度)

- ・社会資源整理
- ・放課後長期休暇ニーズ調査(平成20、21年度)
- ・長期休暇オープンスペース(平成22～24年度)
- ・おりづる講習会(支援者対象)(平成23年度)
- ・関係事業所情報交換会(平成20～24年度)



令和元年度 カローリング交流会の様子

【構成団体】

- ①さくら相談支援事業所②あうるワークスペース③はつかいち福祉ねっと有志
- ④市社会福祉協議会

【令和2年度 取組計画】

- ①ななうら丸 de クルージング(※中止)
- ②カローリング交流会(※中止)

【令和2年度 取組報告】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため予定していたクルージング企画、カローリング交流会については中止にさせていただきました。今後については、新型コロナウイルス感染の状況を見ながら、安全にみんなが楽しめる企画を検討していきたいと思います。



令和元年度 ななうら丸でクルージングの様子

地域生活支援部会 訪問介護事業所連絡会

【目的など】

「事業所同士の横のつながりが持てる機会があれば」の声で立ち上がった連絡会です。学習、情報交換、情報共有を通し、個々のスキルと地域力UPをめざしています。連絡会でのつながりが現場の支援に役立っています

【これまでの主な取組】

- ・講演会「気分障害について」(平成22年度)
- ・広島県障害者地域移行促進強化事業
「ヘルパーさんのための精神保健福祉講座」(平成23年度)
- ・研修会「障がいのある人への対応～思春期をむかえるにあたって～」(平成26年度)
- ・研修会「発達障害の心のケアーヘルパーや支援者がしていいこと、してはいけないことー」(平成27年度)
- ・講演会「障害児を持つ保護者の気持ちを理解するために」(平成28年度)
- ・なちゅは介護セミナー(平成24、25年度)
- ・リハビリテーションケアセミナー(平成27年度)
- ・介護技術向上研修(平成28、29、30年度)
- ・救命講習(平成24、25、27、28、29、30年度)
- ・利用者・ヘルパー交流企画(平成24年度～平成27年度)
- ・長期休暇オープンスペース(平成25年度～平成27年度)
- ・腰痛予防研修(令和元年度)
- ・第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み(平成26年度)



強度行動障害支援者養成研修参加時の様子

【構成団体】

- ①ヘルパーステーションふれあい②訪問介護事業所第2清鈴園③あうる介護サービスセンター④ニチイケアセンター廿日市⑤ニチイケアセンター広島宮内⑥サンキ・ウエルビー介護センター廿日市⑦ヘルパーステーションケーアイ⑧土谷ヘルパーステーション阿品⑨オムエルヘルパーステーション⑩もみじケア訪問介護事業所⑪(株)アッシュ⑫生協ひろしま介護サービス・廿日市⑬廿日市市社会福祉協議会訪問介護センター⑭エコール在宅介護ステーション廿日市⑮訪問介護事業所な⑯ヘルパーステーションつむぎ⑰ヘルパーステーション光風⑱訪問介護事業希生⑲訪問介護事業所リーズン

【令和2年度 取組計画】

ヘルパーのスキルアップのための研修

- ・救命講習(※中止)
- ・制度学習会
- ・強度行動支援者養成研修への参加
- ・第6期廿日市市障がい福祉計画・第2期廿日市市障がい児福祉計画策定に向けた取組

【令和2年度 取組報告】

新型コロナの感染拡大により、例年行っている救命講習や介護技術関連の研修は中止となりましたが、10月～11月にかけて「強度行動支援者養成研修(基礎・実践)」を廿日市市内で開催することになり、連絡会に所属する希望事業所のヘルパーさんが参加しました。研修主催を公益財団法人介護労働安定センターに依頼しました(講師:広島県発達障害者支援センター西村浩二センター長、発達障害者サポートセンター未来図の木村博文施設長)。研修開催後、改めて行動援護のサービスについて定例会の中で共有をしました。定例会も7月以降は隔月ごとに開催をし、途中からはオンラインも活用しながら、コロナ禍における支援の現状を共有する他、障がい福祉計画策定に向け、地域課題について意見交換等を行いました。

地域生活支援部会 防災プロジェクト

【目的など】

障がいのある人や家族、関係機関と連携しながら防災や減災について学習会などを行っていきます。

また、防災などを通じて地域との連携などについても取り組んでいけるよう検討します。

【これまでの主な取組】

- ・防災に関するアンケートを当事者団体や事業所やの協力をえながら実施し集約する。
- ・研修
「災害に備え、今から、やっておくこと」
～防災を切り口に新しい福祉の形を創り出そう～(平成23年度)
- ・障がい別会議合同消防訓練(あいプラザ)(平成27年度～)

【構成団体】

- ①市危機管理課②市福祉総務課③市障害福祉課④市社会福祉協議会⑤きらりあ

【令和2年度 取組計画】

- ①障がい別会議合同避難訓練(あいプラザ)(※中止)
- ②障がいのある人の避難支援の仕組みに関する検討

【令和2年度 取組報告】

毎年恒例となっている「あいプラザ消防訓練」への障がい別会議からの参加については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

避難行動要支援者避難支援制度の進捗状況の確認や、障害福祉課で人工呼吸器を使用している方の緊急時避難を想定したシミュレーションを行った事例を通して、実際にどのような動きや備品が必要なのか等情報共有を行いました。

日中活動系の事業所に対して、台風や暴風雨等の天候が予報された際、どのような情報ツールを活用しているか、いつの時点で閉所の決定をしているか等それぞれの事業所で判断しづらいポイントをお互いに参考にするためアンケートの実施をしました。また、防災の知識や体験的な訓練はどのような内容が必要か、今後の研修計画を検討しました。



会議の様子

地域生活支援部会 地域生活支援システムプロジェクト

【目的など】

国が示した「地域生活支援拠点」を整備するため、本市に必要な地域生活支援システムのあり方等を検討し、「障がいのある人が、地域で安心して暮らし続けることができる仕組み」をつくることを目的としています

【構成団体】

- ①廿日市市障害者団体連絡会②佐伯地区ろうあ協会廿日市支部③日本頸髄損傷LifeNet④障害者施設・原家族会⑤高次脳機能障害家族会「シェイキングハンズ」廿日市地区会⑥スイミー⑦みんなのつながりを豊かにしたい会⑧広島ひかり園⑨友和の里⑩くさのみ作業所⑪さくら作業所⑫友和病院⑬エスペランサ⑭特定相談支援事業所広島ひかり園⑮相談支援事業所いっぽ⑯相談支援事業所エスペランサ⑰相談支援事業所あおぞら⑱もみじケア訪問介護事業所⑲あうる介護サービスセンター(参加事業者調整会議：20法人)

【これまでの主な取組】

- ・プロジェクト、ワーキングによる「廿日市市地域生活支援システム」に関する協議検討(平成28年度～)
- ・「夜間・休日等における緊急時の受け入れ・対応アンケート」(平成28年度)
- ・地域生活支援システムの構築・整備に係る事例研修会～広島県・はつかいち福祉ねっと共催～(平成28年度)

【令和2年度 取組計画】

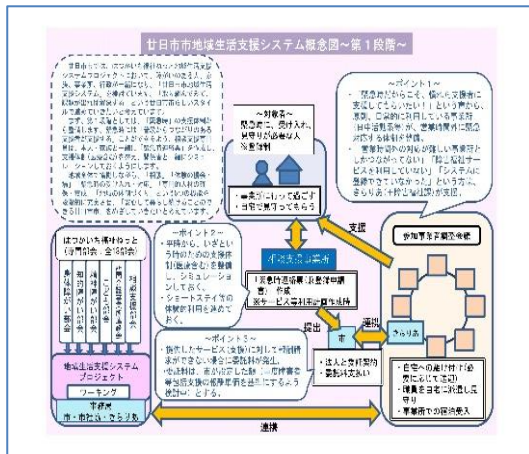
- ①地域生活支援システム運用による課題整理、改善実施
- ②参加事業者調整会議の開催(※中止)
- ③他市町からの情報収集

【令和2年度 取組報告】

「緊急時連絡票(兼登録申請書)(以下、緊急時連絡票)」について、新規登録作業に協力していただいている相談支援専門員からご意見をいただき、緊急時連絡票と防災情報の区別がわかりやすくなるよう改訂しました。

また、大竹市と地域生活支援拠点等(地域生活支援システム)の体制の連携について、どのような形がよいか協議をしました。今後、大竹市の協議会へ本市の地域生活支援システムの内容説明に行くなど、意見交換をしていく予定です。

昨年度に引き続き、令和2年度も本市の取組に、他市町も関心を寄せてくださり、取組紹介の機会をいただきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になりました。



概念図

廿日市市地域生活支援システム緊急時連絡票(兼登録申請書)		住所	電話番号	連絡先	その他
氏名	性別	〒	電話番号	電話番号	その他
住所	〒	〒	電話番号	電話番号	その他
所属	職種	〒	電話番号	電話番号	その他
氏名	性別	〒	電話番号	電話番号	その他
住所	〒	〒	電話番号	電話番号	その他
所属	職種	〒	電話番号	電話番号	その他
氏名	性別	〒	電話番号	電話番号	その他
住所	〒	〒	電話番号	電話番号	その他
所属	職種	〒	電話番号	電話番号	その他
氏名	性別	〒	電話番号	電話番号	その他
住所	〒	〒	電話番号	電話番号	その他
所属	職種	〒	電話番号	電話番号	その他

緊急時連絡票(兼)登録申請書

相談支援部会

【目的など】

障がい福祉サービス等の利用者全員に作成することとなった「サービス等利用計画(障がい児支援利用計画)」の提供体制整備及び相談支援専門員の資質向上を目的としています。

【これまでの主な取組】

- ・ サービス等利用計画作成に関する講演会、演習等(平成24年度～)
- ・ 事業所間情報交換(平成24年度～)
- ・ 調査活動(タイムスタディ)(平成25年度)
- ・ オリジナル資料作成(虎の巻、計画相談に関する疑問と整理(Q&A)、相談支援専門員一覧)(平成24年度～)
- ・ 事業所紹介(平成24年度～)
- ・ Dropbox活用による情報共有(平成24年度～)
- ・ 事業所見学ツアー、事業所情報シート作成(平成26年度～)
- ・ 第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み(平成26年度～)
- ・ サービス等利用計画作成に関する課題整理と解決方法検討のための実態調査実施(平成27年度)
- ・ サービス管理責任者と相談支援専門員合同研修会(平成27、28年度)
- ・ 事例報告(平成29年度～)

【構成団体】

①相談支援事業所原②さくら相談支援事業所③指定特定相談支援事業所広島ひかり園④相談支援事業所そら⑤障害児相談支援事業所PIECE宮園⑥相談支援事業所くさのみ⑦あうるサポートセンター⑧相談支援事業所いっぽ⑨相談支援事業所あおぞら⑩特定相談支援事業所友和の里⑪相談支援事業所エスペランサ⑫ライフプランナーKIZUNA⑬障がい児(者)相談支援事業所みんなの手⑭一般社団法人青少年自立支援フォーラム子ども発達支援室⑮アマノリハビリテーション病院⑯生協ひろしま居宅介護事業所・廿日市⑰多機能事業所ぱすてる⑱スプリングコート⑲ウィルサポキッズ廿日市SSTs・ウィルサポキャンパス廿日市⑳Raiz廿日市㉑エスペランサ㉒児童デイサービスねっ子

【令和2年度 取組計画】

- ①相談支援専門員の質の向上、サービス等利用計画の質の向上のための取組
 - ・ 各種情報共有
 - ・ 「学習コーナー(定例会内)」での学習(制度、計画作成など)
 - ・ 事業所間の情報共有
 - ・ 「事例報告(定例会内)」
 - ・ 事業所見学ツアー&事業所情報リスト作成
- ②新たな相談支援事業所参入に向けた取組
部会へのオブザーバー参加受け入れ、Dropboxによる情報共有で新規参入事業所等へのフォロー

【令和2年度 取組報告】

7月から定例会を再開し、相談支援専門員の質の向上、サービス等利用計画の質の向上、事業所間の情報共有・連携等を行いました。学習としては、はつかいち生活支援センターからセンター内の体制や支援の現状について講演いただきました。

その他、次期障がい福祉計画・障がい児福祉計画策定に向け、各事業所で地域課題について共有を行ったり、コロナ禍における相談支援の現状についてオンラインも活用しながら意見交換を行いました。感染拡大の影響により事業所見学ツアーの企画開催はできませんでしたが、福祉サービス事業所の担当者の方にお越しいただき、部会内で「事業所説明コーナー」として情報共有を行いました。



部会の様子

学習・啓発部会 権利擁護ワーキング

【目的など】

権利擁護に関する研修会開催を中心に、はつかいち福祉ねっと全体の権利擁護意識を高めることを目的に取り組んでいます。

【これまでの主な取組】

・研修

「みんなで学ぼう！！権利擁護の基礎について」(平成23年度)

「部会内研修事例におけるスーパービジョン」(平成24年度)

「自己評価について」「みんなで学ぼう！！成年後見制度のイロハ」(平成25年度)

「障害者虐待防止—起こさないために&起こってしまったら—私たちにできること」「成年後見制度のここが知りたい～身近なものとするために～」(平成24年度)

「成年後見制度講演会」「障がいのある人の権利擁護と虐待防止について」「支援者(保護者)が知っておくべき障害年金手続きの始め方・取り組み方」(平成25年度)

「権利擁護研修会～障がいのある当事者の視点から」「安心して暮らしていくために知っておきたいこと」(平成26年度)

「障害者差別解消法が目指すもの」(平成27年度)

「障害者差別解消法ってなに？～法律の概要と活用のポイント～」 「障害者の権利擁護について～障害者の虐待防止～」(平成28年度)

「私らしく自己決定」「障害者差別解消法と地域協議会について」(平成29年度)

「不当な差別的取り扱いの禁止と合理的配慮の提供～権利条約の示したもの～」(平成30年度)

「意思決定支援のきほんの“き、”」(令和元年度)

・合理的配慮好事例の収集(平成30年度～令和元年度)

【構成団体】

①廿日市市障害者団体連絡会②広島県難聴者・中途失聴者団体連絡会廿日市支部③障害者施設・原家族会④虹の会⑤おのおの手をつなぐ育成会⑥相談支援事業所あおぞら⑦スイミー⑧さくら作業所⑨エスペランサ⑩サンキ・ウエルビィ介護センター廿日市⑪くさのみ作業所⑫広島西医療センター⑬市社会福祉協議会

【令和2年度 取組計画】

- ・研修会開催(はつかいち福祉ねっとのみなさん対象)
- ・合理的配慮に関する協議

【令和2年度 取組報告】

学習としては、研修「意思決定支援のきほんの“ほ”」(講師：森木聡人さん)をオンライン併用して開催し、福祉ねっとのみなさんに広くご参加いただきました。

また、前年度に引き続き障がい理解の啓発を目的とし、各障がい別会議で合理的配慮好事例の収集を行いました。これまで収集した事例を参考とし作成したパンフレット(タイトル「障害者差別解消法 合理的配慮等のポイント」)を関係事業所・機関等へ配布予定です。



研修会の様子

学習・啓発部会 “障害者週間”ワーキング

【目的など】

障がい者福祉についての関心と理解を深めるために“障害者週間”に啓発活動を行います。



【構成団体】

①視覚障害者の会「椿会」②佐伯地区ろうあ協会廿日市支部③廿日市市障害者団体連絡会④高次脳機能障害家族会「シェイキング・ハンズ」廿日市地区会⑤日本ダウン症協会(はつかいち)⑥廿日市市障害者福祉協会⑦広島ひかり園⑧なずな⑨コーヒーショップあんず⑩おおの共同作業所⑪あおぞら⑫あうるワークスペース⑬そらまめ

【令和2年度 取組計画】

①“障害者週間”での取組、啓発活動
(障がい別会議+福祉就労ワーキング)

ゆめタウンはつかいち3階フロアにて啓発展示



【令和2年度 取組報告】

12月5日(土)にゆめタウン廿日市にて“障害者週間”啓発イベントを開催しました。今年度は新型コロナウイルス拡大防止のため、ゆめタウンはつかいち3階フロアにて啓発展示のみを行いました。13の事業所、団体による展示は、日常の活動内容がわかる写真や紹介コメント、自主製品、芸術作品の展示など工夫を凝らした内容でした。新たな試みとして、事業所の活動や作業風景、芸術作品、障害者権利条約の絵本、手話・言語及びコミュニケーション条例のスライドや動画での啓発も行いました。


来場された方からは「事業所商品を購入したい。」「パンフレットを見て事業所に行ってみたくなった。」「普段、ふれる機会の少ない事業所の活動を知ることができて良かった。」などの感想をいただきました。

学習・啓発部会 “発達障害啓発週間”ワーキング

【目的など】

発達障がいについての関心と理解を深めるために世界自閉症啓発デー、発達障害啓発週間に啓発活動を行います。


【これまでの主な取組】

- ・新宮中央公園でのブルーライトアップ(平成30年度～)
- ・はつかいち  アート展～“発達障害啓発週間”作品展～(令和元年度～)

【構成団体】

- ①廿日市市障害者団体連絡会②廿日市市障害者福祉協会③廿日市特別支援学校PTA④広島ひかり園⑤大野ふれあい生活介護事業所⑥あおぞら⑦あうるワークスペース⑧こどもひろばういず⑨放課後等デイサービスつなぐ

【令和2年度 取組計画】

- ① “発達障害啓発週間”(世界自閉症啓発デー)での啓発活動
 - ライト it up ブルー広島 in 廿日市市
 - はつかいち  アート展～“発達障害啓発週間”作品展～(※中止)

【令和2年度 取組報告】

啓発の取組として、新宮中央公園での「ライト it up ブルー広島 in 廿日市市」(ブルーライトアップ(※))を行いました。

開催を予定していた「第2回はつかいち I(あい)アート展～“発達障害啓発週間”作品展～」は、開催に向けて準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむなく中止としました。

令和3年度の啓発活動実施に向けて、2回ワーキングを開催し、第1回目の山崎本社みんなのあいプラザ、はつかいち美術ギャラリー、市民ホール(はつかいち図書館前)に加え、新たに、はつかいち・みやじま情報センター(宮島口旅客ターミナル内)でも作品展を行うこととなりました。

※自閉症・発達障がい啓発のシンボルカラーである“ブルー(青)”は、「癒し」や「希望」を意味し、全国各地でブルーライトアップが行われています。




手づくり横断幕・啓発ポスター・作品掲示 ブルーライトアップ(桜の木)



市民ホール(はつかいち図書館前) 山崎本社みんなのあいプラザ



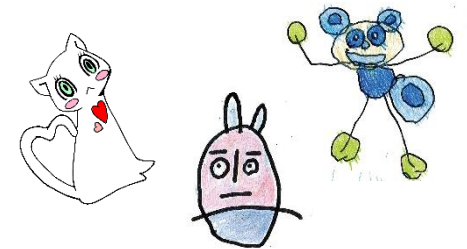
令和元年度「はつかいち  アート展～“発達障害啓発週間”作品展～」の様子



はつかいち美術ギャラリー



Tシャツ(ワーキングで作成)



シンボルキャラクター